

平成 22 年 5 月 26 日現在

研究種目： 基盤研究 (B)
研究期間： 2007~2010
課題番号： 19330063
研究課題名 (和文) アジアの環境と開発

研究課題名 (英文) Environment and Development in Asia

研究代表者

近藤 正規 (KONDO MASANORI)
国際基督教大学・教養学部・上級准教授
研究者番号：30306906

研究代表者の専門分野：開発経済学、環境経済学、アジア経済
科研費の分科・細目：経済学、経済政策
キーワード：アジア、経済、環境

1. 研究計画の概要

世界経済危機に関するデータを収集・分析して、アジア経済の今後の持続可能な成長について分析する。さらに、日本経済との相関関係、アジアの地域統合に関する経済効果の推定も行う。企業レベルのデータも収集し、ケース・スタディも行う。

2. 研究の進捗状況

2009年度は特に、中国、インド、ASEAN諸国の経済データをマクロ・ミクロの両方のレベルで収集し、これらの国々の生産の増加が世界経済、及び日本経済に与える弾力性を計測し、さらに今後の動向予測を行った。その結果、新興国、特に中国とインドの生産活動の世界経済への影響が高まりつつあることを示した。さらに、これらの諸国と日本との経済統合の効果を予測し、ASEAN+6と+3の経済効用の推計を行い、比較した。さらに、日本の政治動向が日本と世界の経済に与える影響についても分析した。

3. 現在までの達成度

② おおむね順調に進展している
(理由) 訪問先の協力を得て多くのデータを集めることができ、分析に集中することができたためである。

4. 今後の研究の推進方策

これまでのデータは昨年度のものであったが、その後ギリシャやスペインの財政悪化に端を発する欧州の経済問題が新たに発生し、資源価格や為替・株式相場も大きく変動している。さらに、中国の元切り上げも議論されている。そうした状況を踏まえ、今後は、こ

れらのデータを現地にて入手した上で、これまでの計量結果をアップデートしたい。最後にこれらの研究成果を書籍にまとめたい。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計2件)

- ① 近藤正規「総選挙と経済自由化への期待」『エマージング市場情報』2009年7月号(第144号 (15頁-21頁)) (査読無)
- ② 近藤正規「世界不況下のインド経済」『フィナンシャル・レビュー』2009年第4号(第96号 (149頁-164頁)) (査読有)

[学会発表] (計2件)

- ① 近藤正規「東アジア経済の持続的成長は可能か」東アジア研究会、2010年3月31日、ANAインターコンチネンタル
- ② 近藤正規「世界最大の民主主義の行方」アジア政経学会、2009年10月10日、法政大学市ヶ谷キャンパス

[図書] (計1件)

浦田秀次郎・山田剛・近藤正規 他 (共著)「拡大アジアを拓く」日本経済研究センター 2009年12月 (234頁)